

寺院内外伝承差の原理

縁起通史の試みから

なかまえまさし
中前正志「著」(京都女子大学教授)

A5判・上製・五五七頁・本体四、〇〇〇円＋税



寺院草創沿革の記録、すなわち寺院縁起は一つの寺院においても多様な内容を持つことが多い。西国三十三所札所諸寺の開創期より近現代に至る各種の縁起を分析して史的展開を跡づけ、寺院発の伝承の変遷に法則性を読み取る。

2021年6月刊行

まえがき

第I部 縁起通史の試み——古代から近現代まで——

序——縁起通史という俯瞰

〔試論A〕 揺らぐ檀那——丹波国穴太寺縁起通史——

付論a 丹波国穴太寺縁起と葉師——『一遍聖絵』巻八第一段が暗示するもの——

〔試論B〕 分岐する開山——丹後国成相寺縁起通史——

付論b 周防国二井寺観音靈験譚のその後

〔試論C〕 移りゆく願主——美濃国華嚴寺縁起通史——

付論c 美濃国谷汲念仏池念仏橋関係資料追遡

第II部 寺院内外伝承差の原理——仮説の提示——

序——寺院内外伝承差の面影

〔補論A〕 観音発見者の収束——宇治三室戸寺縁起断章——

〔補論B〕 楊柳観音の波紋——洛東清水寺縁起断章——

〔補論C〕 草創の遡及——洛北鞍馬寺縁起断章——

〔仮説提示〕 寺院内外伝承差——原理への模索——

付録 明治二十九年刊『西国三十三所靈験画伝』——仏具としての縁起譚——

あとがき

〔著者略歴〕一九六〇年神戸市生まれ。京都大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。花園大学専任講師を経て、現在、京都女子大学文学部教授。著書に『神仏靈験譚の息吹き——身代わり説話を中心に——』（臨川書店、平成二十三年）、編書に『東山中世文学論纂』（私家版、平成二十六年）、など。



目次の詳細は弊社HPでご確認いただけます。QRコードをご利用ください。

注文書		様冊	
(書店名)		ご担当	
中前正志著		法藏館	
寺院内外伝承差の原理		四、〇〇〇円＋税	
縁起通史の試みから		ご住所	
ISBN978-4-8318-7722-2 C3091		お電話	
お名前		ご住所	

ご注文は FAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

仏教・文学